Ⅲ．損益計算書

１．附属病院において法人設立時に国から承継され、資産見返勘定を立てて会計処理を行っている診療機器等に係る当期の資産見返勘定戻入額は216,109千円です。

２．附属病院に関する借入金元金償還額と出資財産に係る減価償却費の差額による当期純利益への影響額は、2,313,775千円です。

Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	9,499,967千円
定期預金	△1,800,000千円
資金期末残高	7,699,967千円

２．重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	5,047,449千円
ＰＦＩによる資産の取得	1,225,949千円
現物寄附による資産の取得	4,881,676千円

Ⅴ．減損会計関係

１．減損を認識した固定資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用　途	場　所	種　類	帳簿価額
煙突	京都府京都市	構築物	706
倉庫	京都府宇治市	建物	132
実験室	京都府京都市	建物	233
通信設備	京都府京都市	建物附属設備	44
電力装置	京都府京都市	建物附属設備	7
ＲＩ貯蔵槽	京都府京都市	構築物	22
ＲＩ貯蔵槽	京都府京都市	構築物	743
連絡通路	京都府京都市	構築物	16
観測孔	京都府京都市	構築物	7
桟橋	新潟県上越市	構築物	53,167
焼却炉上屋	京都府京都市	構築物	70
学生宿舎	和歌山県西牟婁郡	建物	25
職員宿舎	京都府宇治市	建物	22,998
給湯設備	京都府宇治市	建物附属設備	185
塵芥置場	京都府京都市	構築物	356
塵芥置場	京都府京都市	構築物	146
塵芥置場	京都府京都市	構築物	235
屋外階段	京都府宇治市	構築物	432

⑵　減損の認識に至った経緯

煙突については、使用実績が著しく低下しており、今後の使用が想定されていないため、減損を認識しております。その他の資産につきましては、老朽化や観測方法の変更等により当該事業年度に除却するにあたり、使用しない決定を行ったため、減損を認識しております。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳及び回収可能サービス価額の算出方法の概要

（単位：千円）

用　途	種　類	減損額
煙突	構築物	706
倉庫	建物	132
実験室	建物	233
通信設備	建物附属設備	44
電力装置	建物附属設備	7
ＲＩ貯蔵槽	構築物	22
ＲＩ貯蔵槽	構築物	743
連絡通路	構築物	16
観測孔	構築物	7
桟橋	構築物	53,167
焼却炉上屋	構築物	70
学生宿舎	建物	25
職員宿舎	建物	22,998
給湯設備	建物附属設備	185
塵芥置場	構築物	356
塵芥置場	構築物	146
塵芥置場	構築物	235
屋外階段	構築物	432

回収可能サービス価額は、使用価値相当額が、正味売却価額より高いため、使用価値相当額を採用しております。使用価値相当額については、当該資産の帳簿価額に、当該資産につき使用が想定されていない部分以外の部分の割合を乗じて算出した価額を用いております。